ホクコーラブサイド®K２フロアブル

■種 類 名：エチプロール・フサライド水和剤
■有効成分：エチプロール---------- 8.8%
　　フサライド---------- 17.5%
■化管法指定物質：フサライド［第１種］ ---------- 17.5%

■登録番号：第24521号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2021.05.12
■性　　状：類白色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：2年
■包　　装：1㍑×12本
　　20㍑×1缶(1年)

【特長】

- いもち病防除剤として効果の高いラブサイドと殺虫剤キラップを混合したフロアブル剤。
- エチプロールを増量し、カメムシ類に対してより安定した防除効果を発揮する。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エチプロールを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 カメムシ類	1000 倍	60～150 ㍑/10ａ	収穫 14 日前まで	２回以内	散布	２回以内（は種時(直播)又は移植時までの処理は１回以内）	３回以内
		300 倍	25 ㍑/10ａ					
		8 倍	0.8 ㍑/10ａ			無人航空機による散布		
		30 倍	3 ㍑/10ａ			空中散布		

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 本剤はいもち病発生に際して予防的に散布した方がより効果的である。葉いもちに対しては発生が予想される場合又は初発生をみたら直ちに散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤を空中散布および無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
  - ◆ 各散布機種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
  - ◆ 無人航空機による散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中、薬液の漏れの無いように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
  - ◆ 作業終了後は次の項目を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄すること。
    - ② 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理すること。
- 稲に対して希釈倍数 300 倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

❖ 農薬使用者に係る注意事項
　① 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること
　② 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
　③ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
　④ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。

❖ 蜜蜂に係る注意事項
　① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
　② 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。

❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。